第62期(2024年)

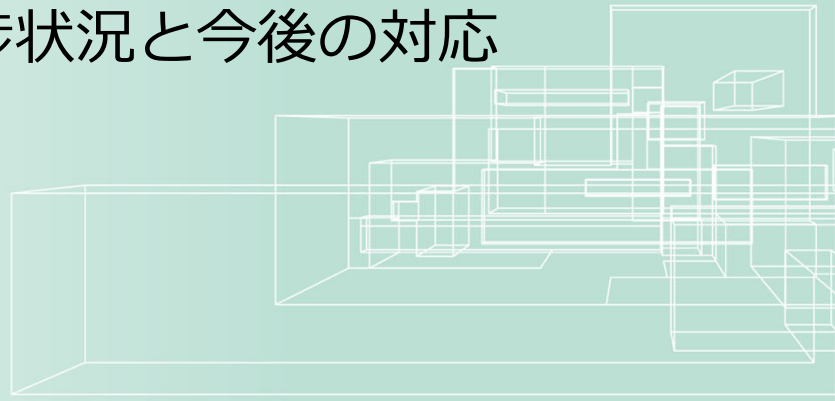
第2四半期 決算報告

2024年8月13日 公表

株式会社 建設技術研究所

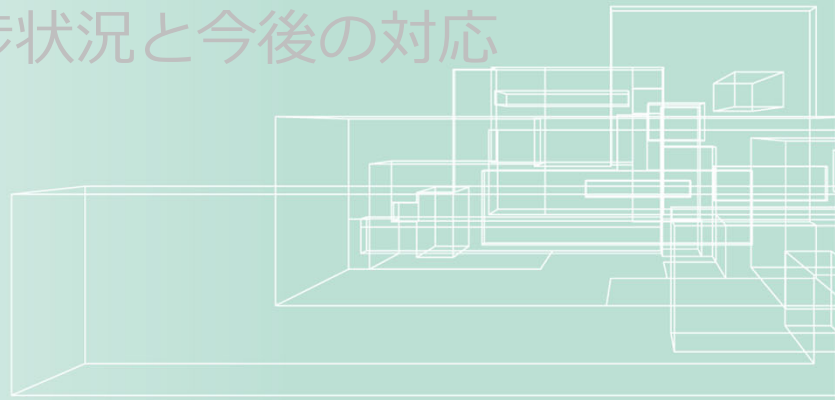
未来につづく
安全・安心を

1. 第62期 (2024年) 第2四半期 決算報告
2. 第62期 (2024年) 期末予想
3. 期末に向けた課題の進捗状況と今後の対応
Appendix



未来につづく 安全・安心を
Copyright © 2022 CTI Engineering Co., Ltd. All Right Reserved.

1. 第62期 (2024年) 第2四半期 決算報告
2. 第62期 (2024年) 期末予想
3. 期末に向けた課題の進捗状況と今後の対応
Appendix



未来につづく 安全・安心を
Copyright © 2022 CTI Engineering Co., Ltd. All Right Reserved.

第62期 第2四半期決算ハイライト（連結）

上半期受注高・売上高・営業利益は、ともに上半期の実績が予想を上回った
下半期は、例年どおりの進捗が想定されるため、上半期の好業績を踏まえ、今回通期計画の上方修正を発表

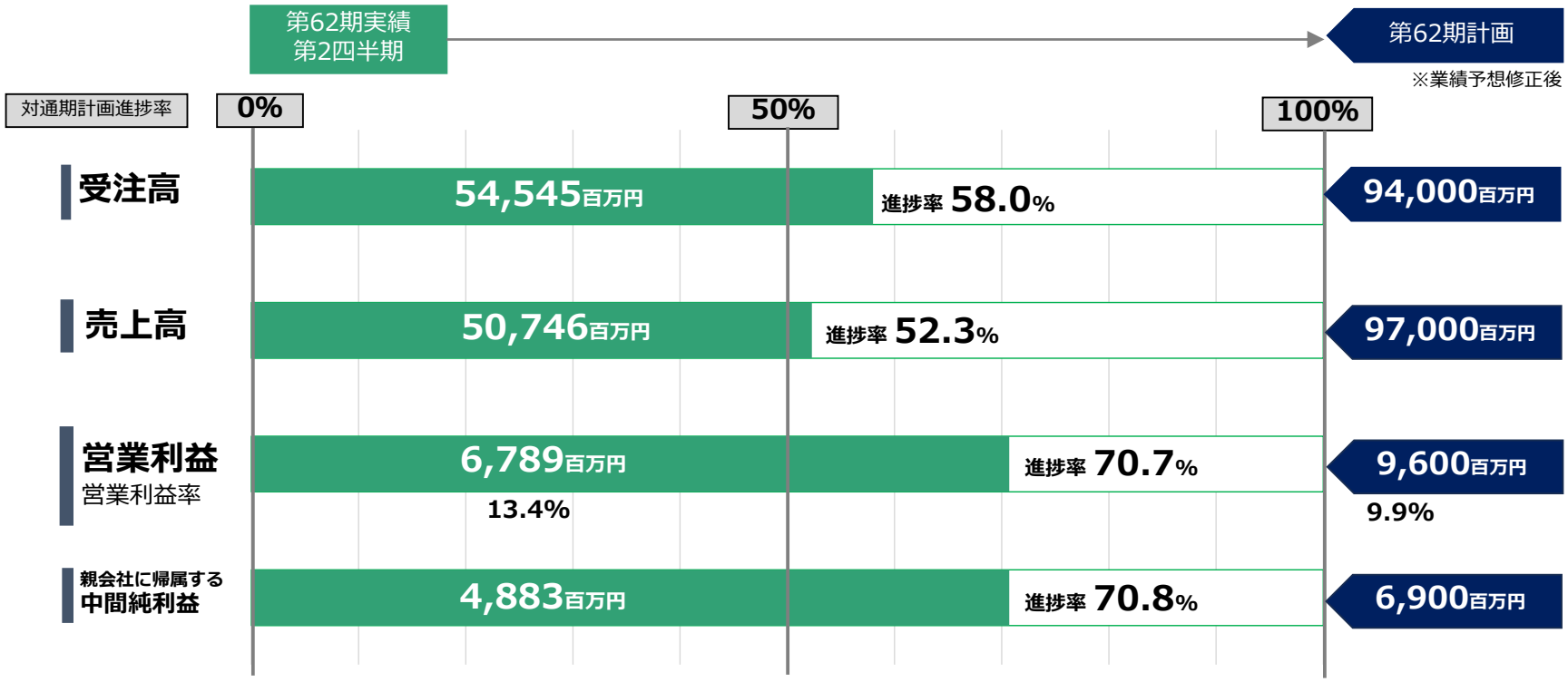
受注高	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する中間純利益
54,545百万円	50,746百万円	6,789百万円	4,883百万円
前年同期 58,923百万円 増減率 ▲7.4%	前年同期 47,623百万円 増減率 ＋6.6%	前年同期 7,166百万円 増減率 ▲5.3%	前年同期 5,289百万円 増減率 ▲7.7%

受注高	上半期は当初計画を上回る進捗。 下半期についても当初方針のとおり、生産体制を確認しながら技術者の労働負荷を考慮した業務受注を行う。
売上高	上半期全体では第１四半期での想定以上の進捗を受け、前年同期を上回る売上高を達成。 特に、流域・国土事業部門の業務が想定より進捗。
営業利益	第1四半期に高収益かつ大型案件が予想以上に進捗したことにより、上半期全体では予想を上回る。

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

第62期 第2四半期決算ハイライト（対計画進捗率）

営業利益・親会社に帰属する中間純利益は修正計画の７割を確保
下半期は、海外の景気動向、為替レートが不確実であるが、前期程度の進捗を想定



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

損益計算書概要（連結）

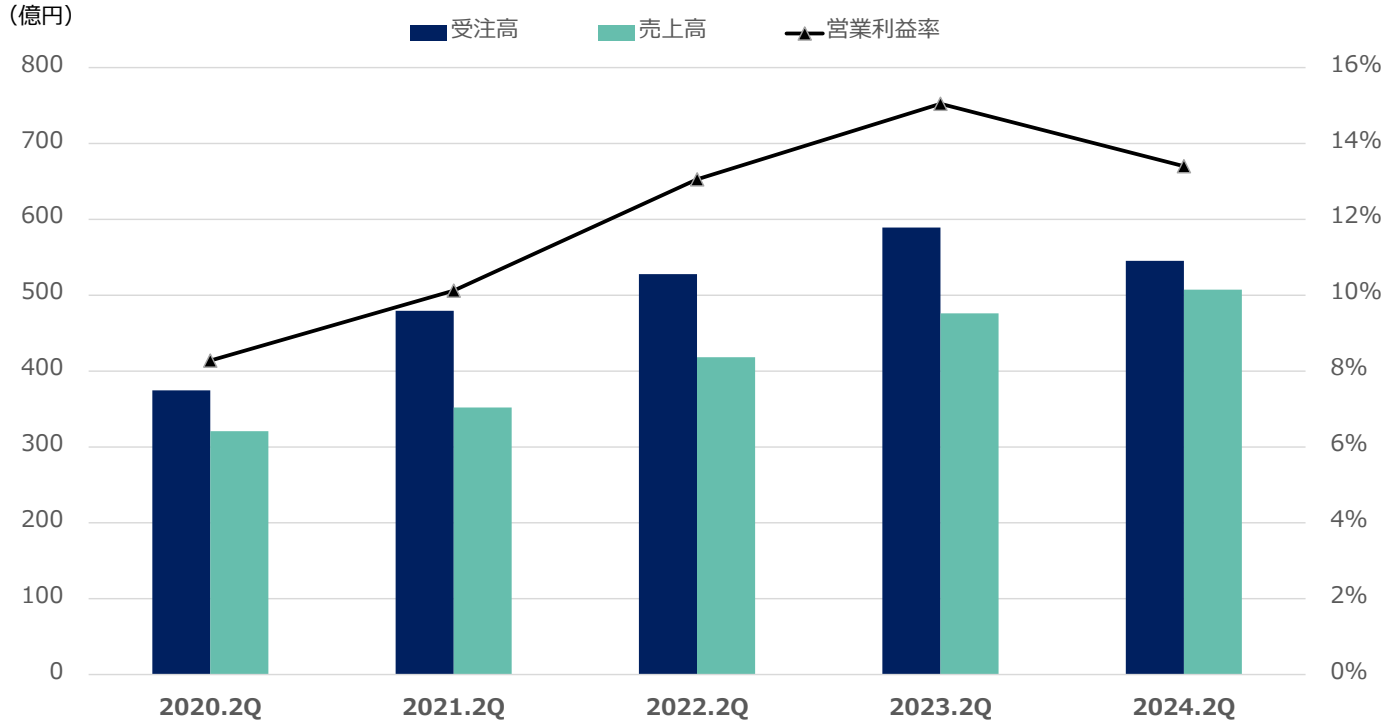
（単位：百万円）

項　　目	第61期(2023年)2Q	第62期（2024年）2Q			第62期（2024年）修正計画	
			増減額	前年同期比		対計画進捗率
受注高	58,923	54,545	▲4,378	▲7.4%	94,000	58.0%
売上高	47,623	50,746	+3,122	+6.6%	97,000	52.3%
営業利益	7,166	6,789	▲376	▲5.3%	9,600	70.7%
営業利益率	15.0%	13.4%	-	▲1.7pt	9.9%	-
経常利益	7,287	6,853	▲434	▲6.0%	9,700	70.7%
親会社に帰属する中間純利益	5,286	4,883	▲405	▲7.7%	6,900	70.8%

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

（参考）上半期の受注高・売上高・営業利益率推移（連結）

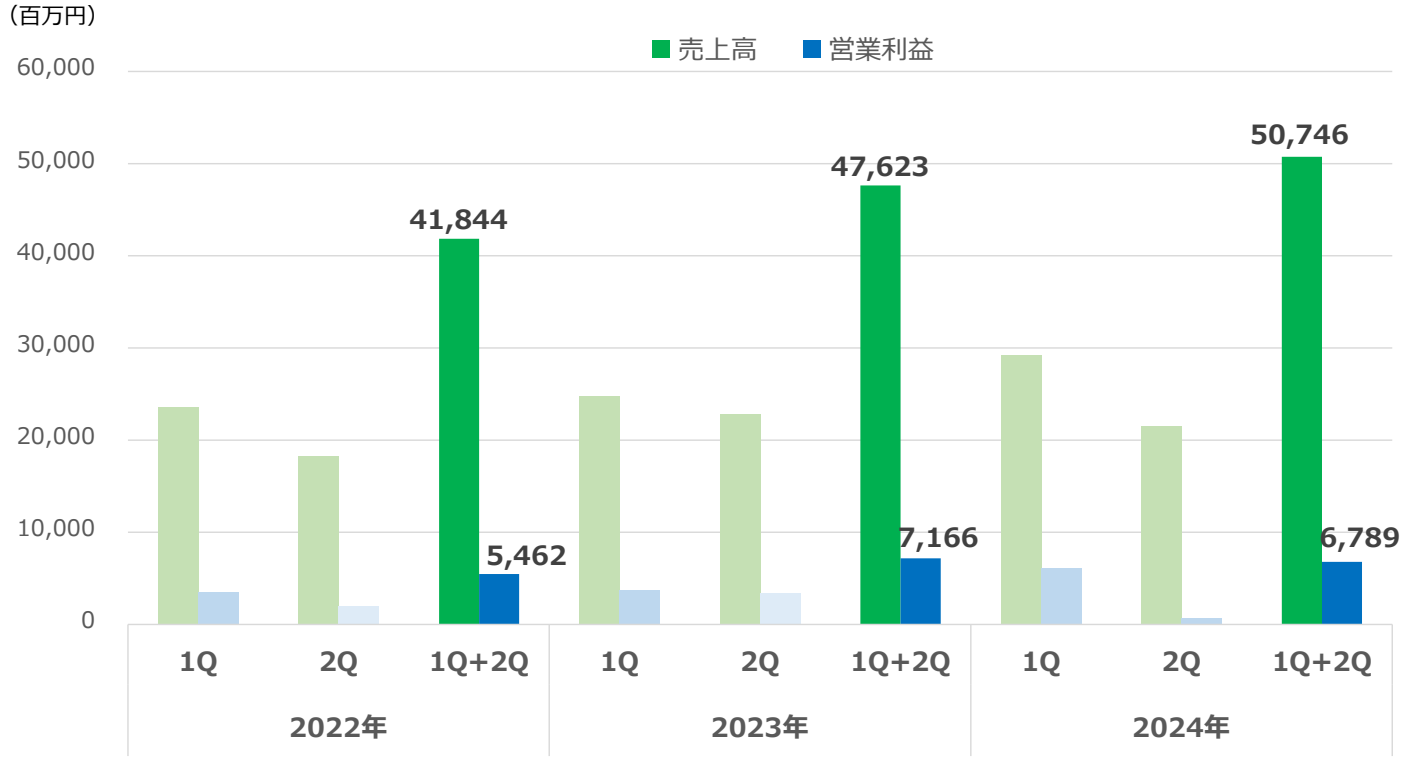
受注高は、複数年契約の大型業務の減少、労働負荷軽減などから、前年同期よりも若干減少
売上高は、第１四半期での予想以上の進捗により、前年同期を上回る
営業利益率は、人員拡充、賃上げ、物価上昇等により、前年同期を下回る



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

（参考）上半期の売上高・営業利益推移（連結）

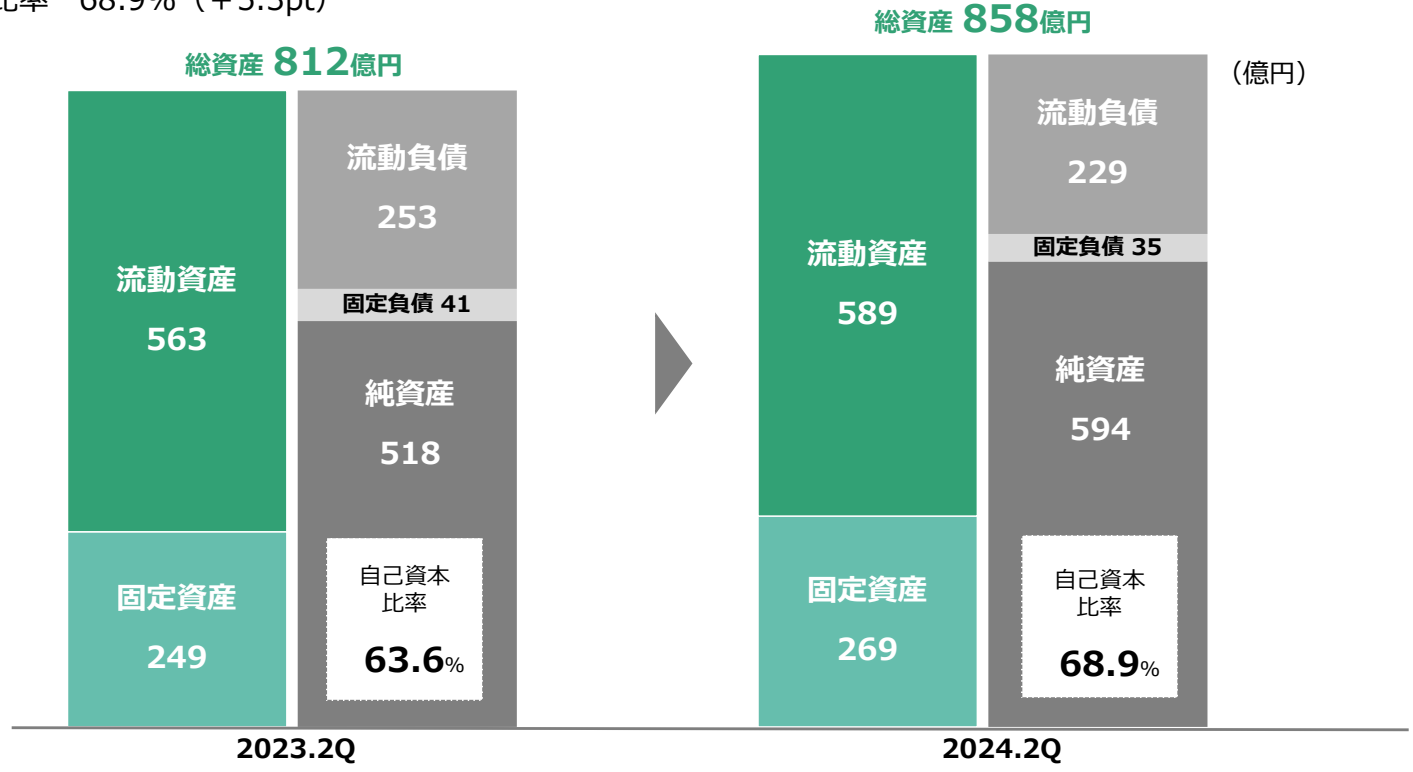
当グループが行うコンサルタント業務は公共事業が多く、業務の進捗が年度末に集中することから、
売上高及び営業利益は、第１四半期（2022年の収益認識基準適用以降）に偏り、第2四半期は減少する傾向にある



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

貸借対照表（連結）

・資産は、売上債権増加（+57億円）等により、46億円増加
・負債は、契約負債減少（▲42億円）等により、29億円減少
・自己資本比率　68.9%（＋5.3pt）



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント情報：国内建設コンサルティング事業

■受注高は当初方針を踏まえ計画どおりに進捗

・受注高は、当初計画を上回る進捗（計画に対し61.0%の進捗）
・下半期は、技術者の労働負荷を考慮しつつ、業務受注していく予定
・売上高は、計画に対し53.8%、営業利益は計画に対し74.6%の進捗

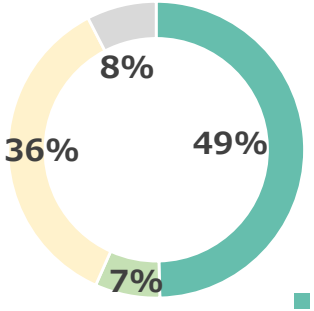
（百万円）

項　　目	第61期(2023年)2Q	第62期（2024年）2Q			第62期（2024年）修正計画	
			増減額	前年同期比		対計画進捗率
受注高	40,625	**38,123**	**▲2,502**	▲6.2%	62,500	61.0%
売上高	34,113	**35,493**	**+1,379**	+4.0%	66,000	53.8%
営業利益	6,800	**6,494**	**▲305**	▲4.5%	8,700	74.6%
営業利益率	19.9%	**18.3%**	-	▲1.6pt	13.2%	-

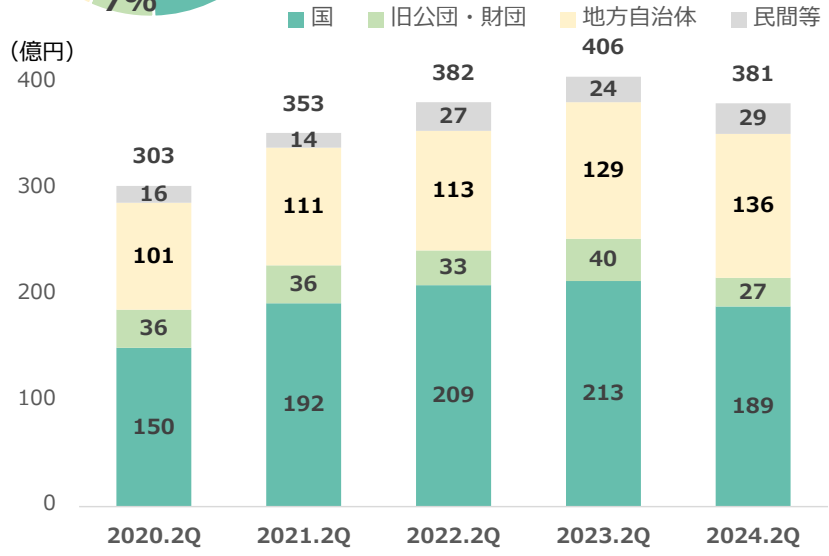
Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内建設コンサルティング事業 受注高の状況

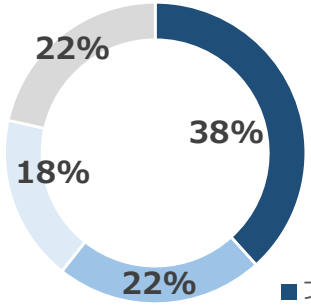
■発注者別受注高



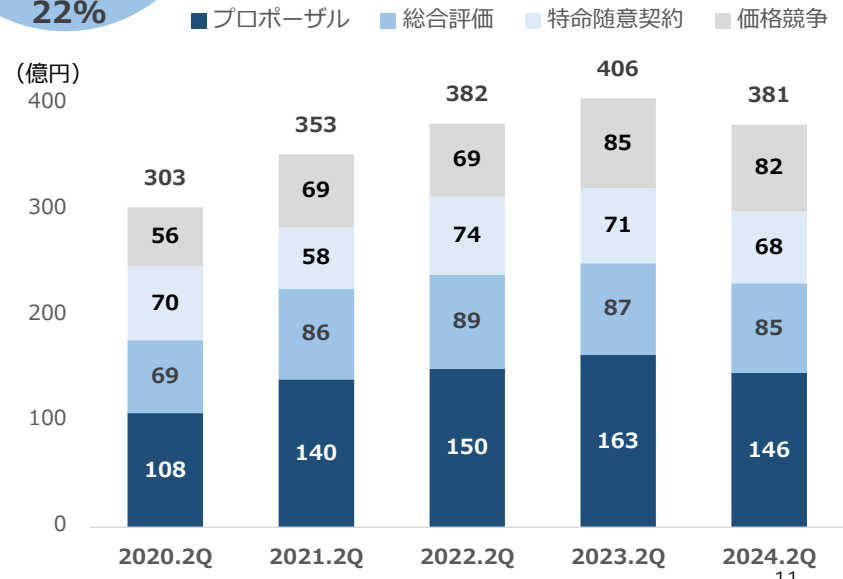
・国、旧公団・財団からの受注は減少
・地方自治体、民間等で若干の伸び
・発注者別受注高の傾向は、
例年と大きく変わらない



■契約方式別受注高



・契約方式別受注高の傾向は、
例年と大きく変わらず、
技術競争（プロポーザル、総合評価）による
受注割合が高い傾向が続く
・全体的に減少傾向、特にプロポーザルの
減少幅が大きい

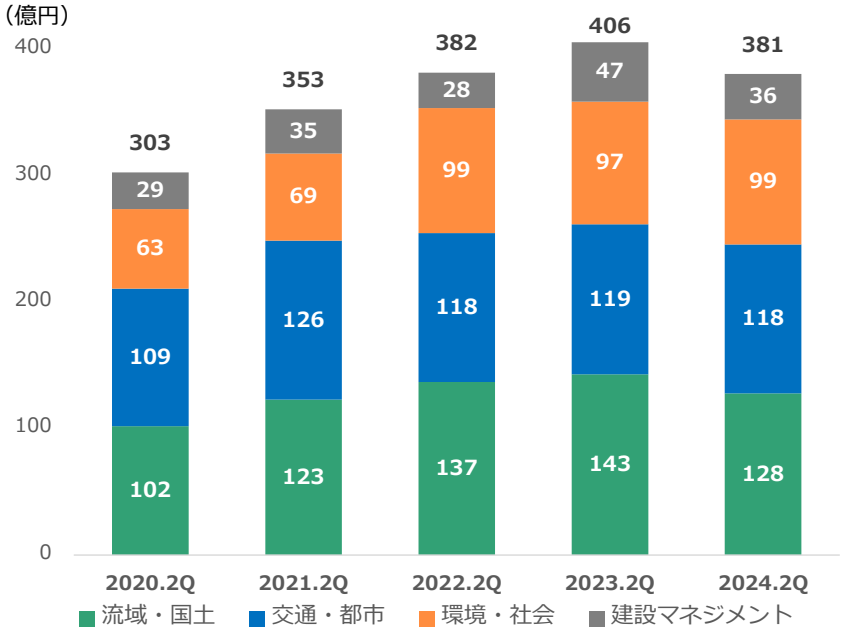


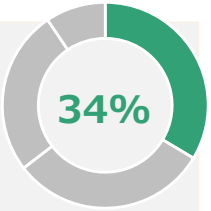
Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内建設コンサルティング事業 受注高の状況

■事業部門別受注高

・事業部門別受注高の傾向は、例年と大きく変わらない
※2023年期末実績：
流域・国土36%、交通・都市31%、環境・社会25%、建設M8%
・流域・国土と建設マネジメント事業部門の減少幅が大きい

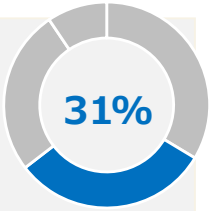




流域・国土事業部門

河川・海岸/ダム/砂防/上下水道/機電設備

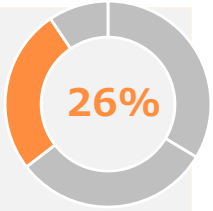
受注高　12,792百万円
前年同期比　▲10.5%



交通・都市事業部門

道路・交通/都市・建築

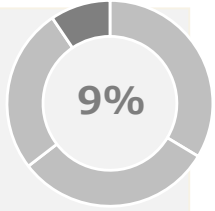
受注高　11,807百万円
前年同期比　▲1.2%



環境・社会事業部門

情報・電気/防災/環境/地質

受注高　9,955百万円
前年同期比　+3.0%



建設マネジメント事業部門

公共調達支援/CM・施工管理

受注高　3,568百万円
前年同期比　▲24.2%

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

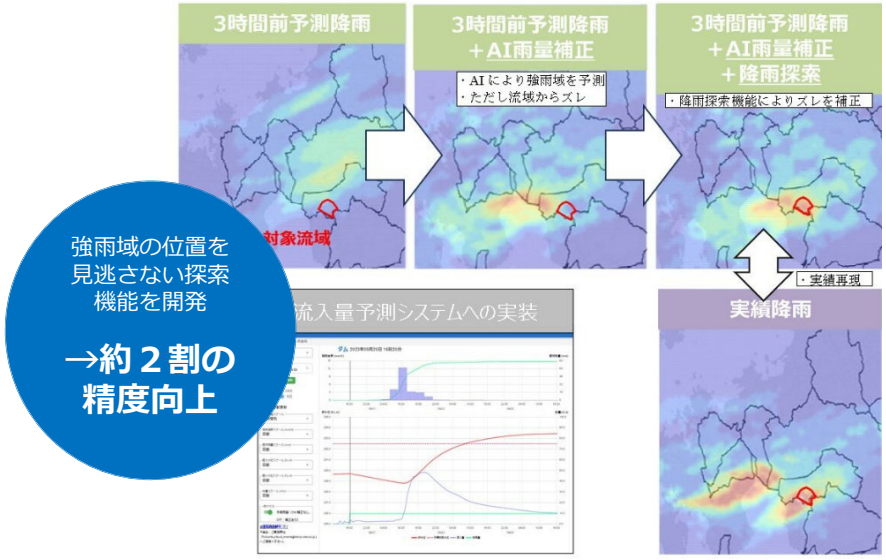
DX　流域国土

■ AIモデル・ゲームエンジンを用いた洪水リスク予測DX技術の開発

～洪水予測に関するDX技術を用いて、中小河川流域の水防災へさらなる貢献を目指す～

流域面積の小さい河川・ダムを対象に、降雨予測情報取得の低コスト化、洪水予測の高度化および洪水時の住民の逃げ遅れゼロを目的に、「WEB気象情報から予測雨量データ取得」「AIモデルによる予測レーダ雨量の補正と強雨域探査機能」「ゲームエンジンを用いた洪水可視化技術」を開発。

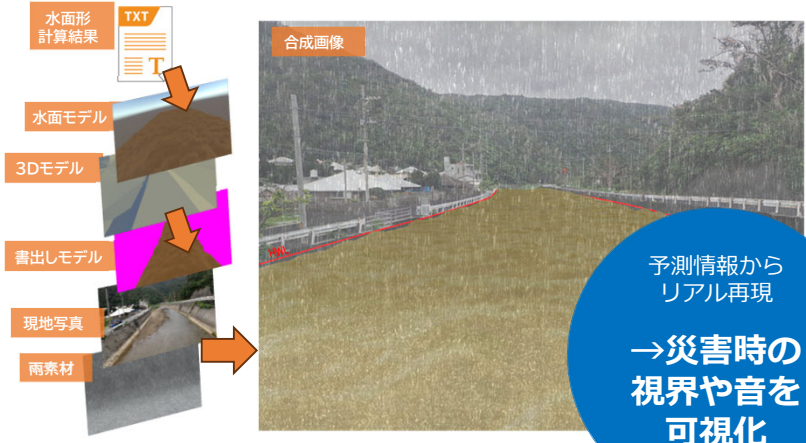
・AIモデルによる予測レーダ雨量の補正と強雨域探査機能



強雨域の位置を見逃さない探索機能を開発

→約２割の精度向上

・ゲームエンジンを用いた洪水可視化技術



予測情報からリアル再現

→災害時の視界や音を可視化

本技術の効果

・AIモデル・ゲームエンジンを用いた安価な洪水リスクの予測
・災害時の視界や音をイメージできるよう可視化
→**水防災対策の迅速化と防災行動の自分事化を目指す**

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内建設コンサルティング事業 トピックス

サステナ　交通都市

■ 「CTIグループ・サステナブルチャレンジ」の達成に向けた取り組み

・江東区若洲公園整備事業
公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した官民連携事業による再整備事業に、当社を代表企業とするグループが設置等予定者※に選定

整備方針：
親子で過ごす
江東区版
ゼロカーボン
パーク

再エネ設備導入

→公園内
CO2排出量
実質ゼロを
実現



若洲公園再整備イメージ

※飲食店、売店等などの公募対象公園施設の設置とそれらの施設の収益を活用して、その周辺の園路、広場等の一般利用できる公園施設の整備・改修を一体的に行う者

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内建設コンサルティング事業 トピックス

サステナ　環境DNA　環境社会

■地下水中における細菌のDNA情報を用いた水質分類手法

※環境DNAの詳細はAppendix参照

・従来、地下水の流れを調べる際、一般的手法であるイオン分析では…



同じ地質や隣接流域では水質の違いが不明瞭となり、地下水の流れを考察することが困難

・今回開発したDNA情報を用いた水質分類手法により

地下水に含まれるDNAから生息する細菌を検出・分析 → 地下水の起源、分類、浸透経路を把握できる

さいきんそう
細菌叢解析

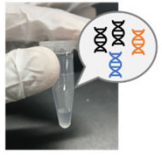
・細菌叢解析の流れ

採水 → ろ過 → DNA抽出 → PCR法による遺伝子の増幅

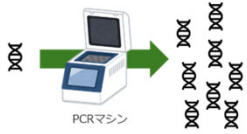




ろ過装置で細菌や環境DNAを収集



細菌の16S rRNA遺伝子領域



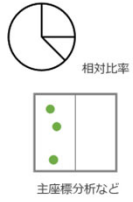
次世代シーケンサー解析 → 細菌叢を分類



・多検体でも短い期間で分析結果を取得
・培養が困難な細菌類も検出可能

得られた配列を検索し、細菌のリストを作成





本技術の効果

・地下水に含まれる環境DNAを網羅的に分析することが可能
・従来手法とは異なる有機物由来の情報が得られることにより、水質分類の精度向上
→**建設工事等による地下水影響評価や汚染源特定を高精度で実施（効果的な地下水汚染対策を提案）**

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

サステナ　AI　環境社会

■AIを用いた予測制御型エネルギーマネジメントシステムの開発
～電力需給管理によるコスト最適化とCO2排出量削減の実現により、脱炭素社会の構築に貢献

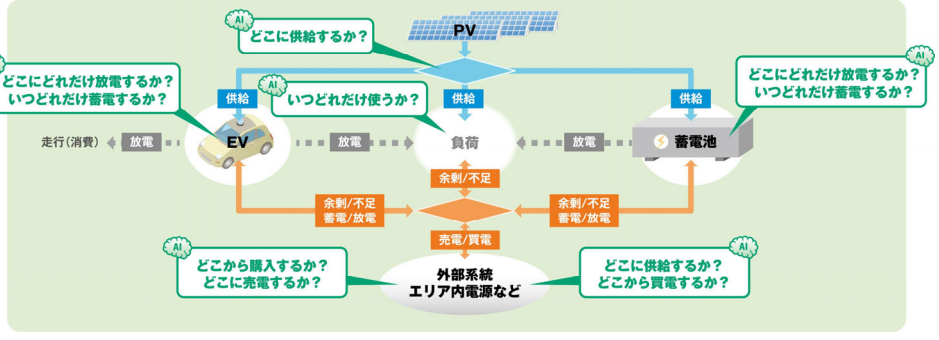
・本システムの特徴

①高い精度での発電量および電力消費量の予測

AI技術により、従来は経験則や実績値に頼っていた発電量・電力消費量の予測を高精度で行うことが可能に。

②需給マネジメントによる需要家メリットの最大化

変動する卸電力市場価格に適応した電力の売買判定フローを含めた最適な需給管理を実現。

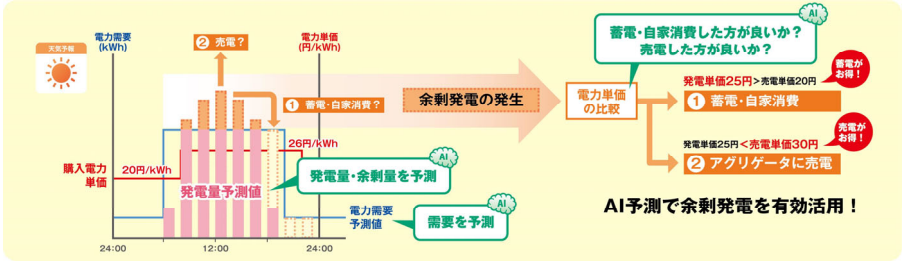


AI予測制御型エネルギーマネジメントシステムの概要

本技術の効果

・ビルオーナーなどの需要家が的確な電力の需給管理を行うことが可能に

→**コストの最適化とCO2排出量削減を実現**



AI予測制御型エネルギーマネジメントシステムによるコスト最適化

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント情報：海外建設コンサルティング事業

■受注高・売上高・営業利益は計画通り進捗

・受注高は計画に対し52.1%、売上高は計画に対し49.2%、営業利益は計画に対し33.0%の進捗

（単位：百万円）

項　　目	第62期(2023年)2Q	第62期（2024年）2Q			第62期（2024年）修正計画	
			増減額	前年同期比		対計画進捗率
受注高	18,297	**16,421**	**▲1,876**	▲10.3% (▲22.0%)	31,500	52.1%
売上高	13,510	**15,253**	**+1,742**	+12.9% (+0.1%)	31,000	49.2%
営業利益	377	**296**	**▲80**	▲21.4%	900	33.0%
営業利益率	2.8%	**1.9%**	-	▲0.9pt	2.9%	-

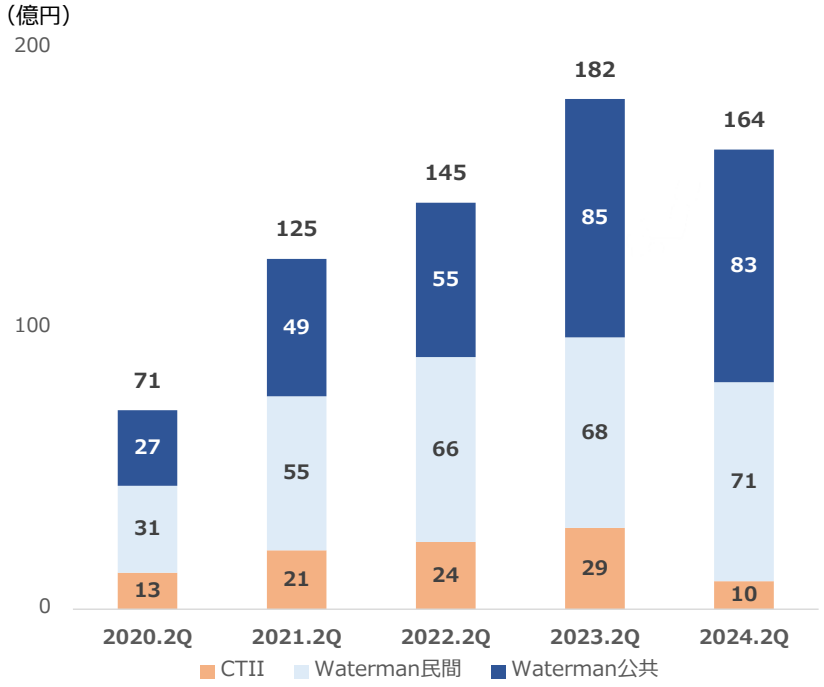
※受注高には、海外子会社の期末受注残高を為替評価した増減額を含んでおります。
　増減率のカッコ内には、海外子会社の為替評価による増減額を除いた増減率を記載しております。

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

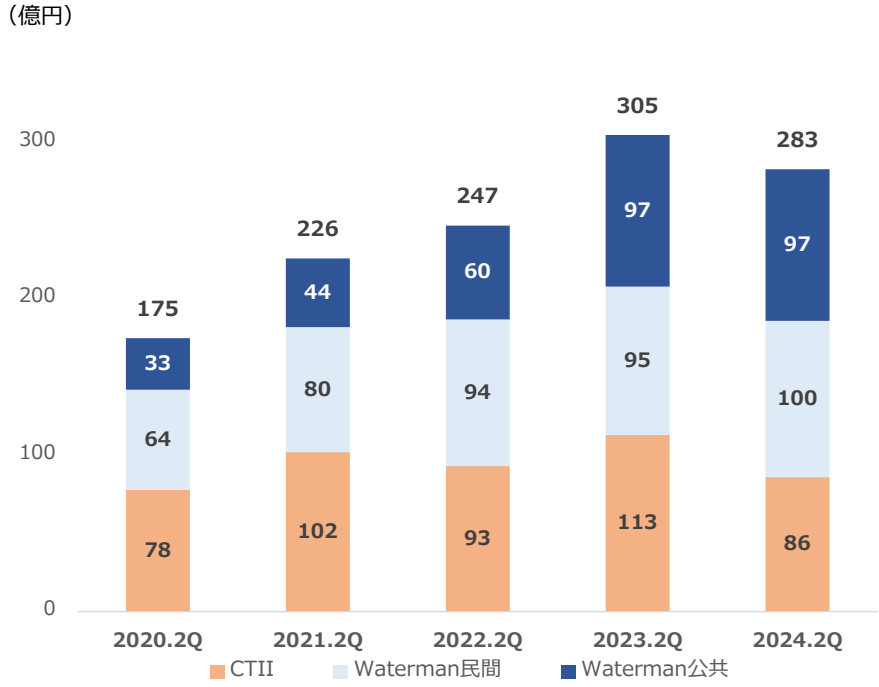
海外建設コンサルティング事業 受注高の状況

・Watermanの受注は、民間・公共ともに計画どおりに進捗。
　英国・オーストラリアの景気回復の遅れに伴い、下半期の受注は厳しくなることが予想される。
・CTIインターナショナルは、フィリピンの大型案件受注獲得の遅れ等が発生。

■受注高推移



■受注残推移



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

建設技研インターナショナル(CTII)の業務紹介

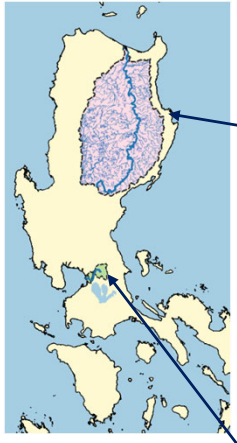
■業務名称：重要流域治水対策強化プロジェクト(パッシグ・マリキナ川流域)
重要流域治水対策強化プロジェクト(カガヤン川流域)
■国・地域：フィリピン国・ルソン島
■業務概要：

・フィリピンの「重要流域治水対策強化プロジェクト」は、フィリピンの主要河川流域における洪水リスク低減、持続可能な治水対策の強化を目的とした、JICA (国際協力機構)とフィリピン政府が協力して進めているプロジェクト

・2024年4月、 CTIIはパッシグ・マリキナ川流域、カガヤン川流域を対象とした治水対策強化プロジェクト2業務を受注

・両河川流域は、台風による洪水氾濫被害が多発する地域で、2020年台風ユリシーズなどにおいても甚大な被害を受けた

・本プロジェクトを通じて、治水安全度の早期向上に向け、河川・氾濫特性等を考慮した各種洪水対策の提案等を行う





カガヤン川：ルソン島北部に位置し、フィリピン最長かつ最大の流域面積(27,300km^2)を持つ



パッシグ・マリキナ川：フィリピン最大都市マニラ首都圏を流下する(714km^2)

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

海外建設コンサルティング事業 トピックス

Waterman Group Plcの業務紹介

■業務名称：炭素排出量を削減する複合施設 Hill Houseの改築計画
■国・地域：イギリス国・ロンドン
■業務内容：

・ロンドン市内の複合施設 Hill Houseを新たなランドマークとなる「ビルを流れ落ちる垂直な都会の森」をもったテラス付き20階建ての“低炭素”複合ビルに改築するプロジェクト

・1970年代に建設されたコンクリート造りのビルで、改築後にはオフィス、小売店、テラス、レストラン、文化イベントスペース等を備えた延床面積約35,000㎡のスペースを提供

・Waterman Group Plcは、低炭素化スキーム、構造設計、土木設計などに対する多面的なサポートを実施

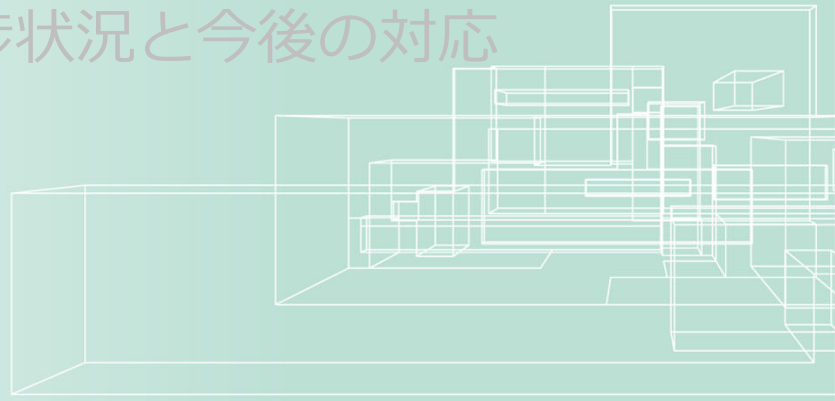
・特にサステナビリティチームは、解体前の調査で再利用が可能な主要資材を特定し、既存構造の約60%を保存、主要資材を再利用することによって、エンボディドカーボン量の大幅な削減を実現


Hill Houseの全景（完成予想図）


Hill Houseのメインエントランス（完成予想図）

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 第62期 (2024年) 第2四半期 決算報告
2. 第62期 (2024年) 期末予想
3. 期末に向けた課題の進捗状況と今後の対応
Appendix



未来につづく 安全・安心を
Copyright © 2022 CTI Engineering Co., Ltd. All Right Reserved.

連結・個別ともに通期予想を上方修正

上半期受注高・売上高・営業利益は、ともに上半期の実績が予想を上回った
下半期は、計画どおりの進捗が想定されるため、上半期の好業績を踏まえ今回上方修正を発表

（単位：百万円）

項目		第62期（2024年） 前回発表予想 (A)	第62期（2024年） **今回修正予想 (B)**	第62期（2024年） 増減額 (B－A)	第62期（2024年） 増減率 (%)	第61期（2023年） 実績（参考）
連結	売上高	89,000	**97,000**	8,000	9.0%	93,057
	営業利益	8,400	**9,600**	1,200	14.3%	10,011
	営業利益率	9.4%	**9.9%**	+0.5pt	-	10.8%
	親会社株主に帰属する当期純利益	6,100	**6,900**	800	13.1%	7,534
個別	売上高	56,000	**59,000**	3,000	5.4%	57,439
	営業利益	7,500	**8,400**	900	12.0%	8,563
	営業利益率	13.4%	**14.2%**	+0.8pt	-	14.9%
	当期純利益	5,700	**6,500**	800	14.0%	6,652

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

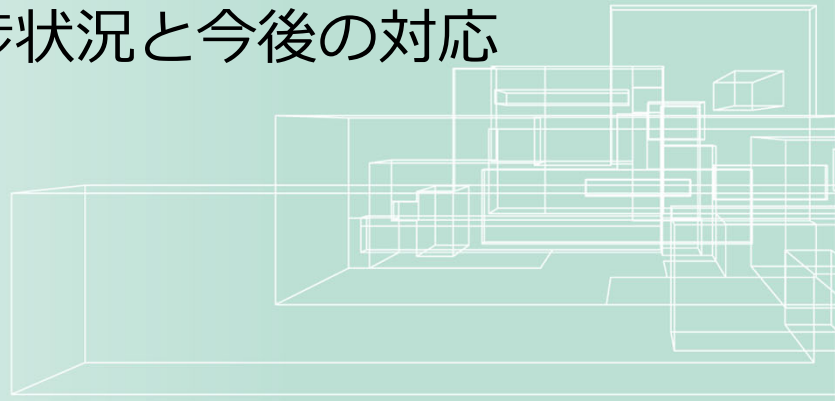
国内・海外事業ともに通期予想を上方修正

（単位：百万円）

項目		第62期（2024年） 前回発表予想 (A)	第62期（2024年） **今回修正予想 (B)**	第62期（2024年） 増減額 (B－A)	第62期（2024年） 増減率 (%)	第61期（2023年） 実績（参考）
国内	売上高	63,000	**66,000**	3,000	4.8%	64,473
	営業利益	7,700	**8,700**	1,000	13.0%	8,943
	営業利益率	12.2%	**13.2%**	+1.0pt	-	13.9%
海外	売上高	26,000	**31,000**	5,000	19.2%	28,583
	営業利益	700	**900**	200	28.6%	1,073
	営業利益率	2.7%	**2.9%**	+0.2pt	-	3.8%
合計	売上高	89,000	**97,000**	8,000	9.0%	93,057
	営業利益	8,400	**9,600**	1,200	14.3%	10,011
	営業利益率	9.4%	**9.9%**	+0.5pt	-	10.8%

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 第62期 (2024年) 第2四半期 決算報告
2. 第62期 (2024年) 期末予想
3. 期末に向けた課題の進捗状況と今後の対応
Appendix



未来につづく 安全・安心を
Copyright © 2022 CTI Engineering Co., Ltd. All Right Reserved.

（参考）第62期（2024年）経営計画のポイント（第61期決算報告資料より）

ポイント①：事業構造変革促進とミス防止

事業構造変革促進

- 国土交通省のシェア維持
- 地方自治体、民間双方の受注拡大
- サービス・分野拡大

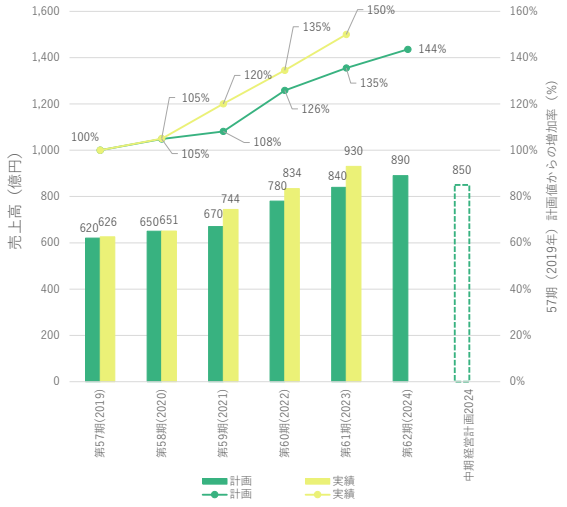
ミス防止

- 専任の照査担当者配置

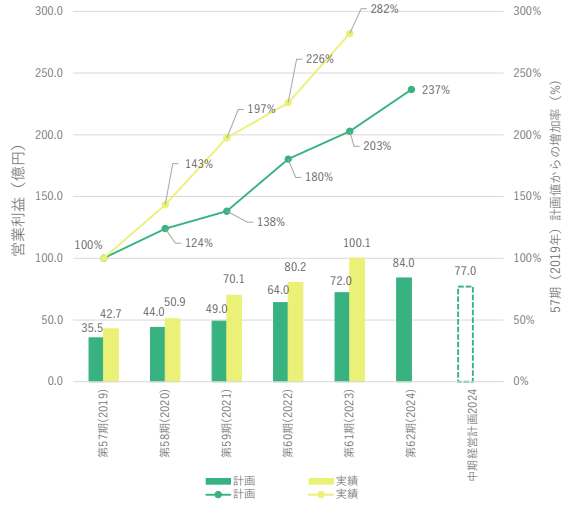
ポイント②：投資強化

- 人材強化や育成、処遇改革等の人的資本への投資強化
- 技術競争力を強化するための、技術開発への投資強化
- 事業拡大、生産性向上に向けた研究開発投資の強化
- ミス防止のための投資強化

売上高の推移（連結）



営業利益の推移（連結）



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

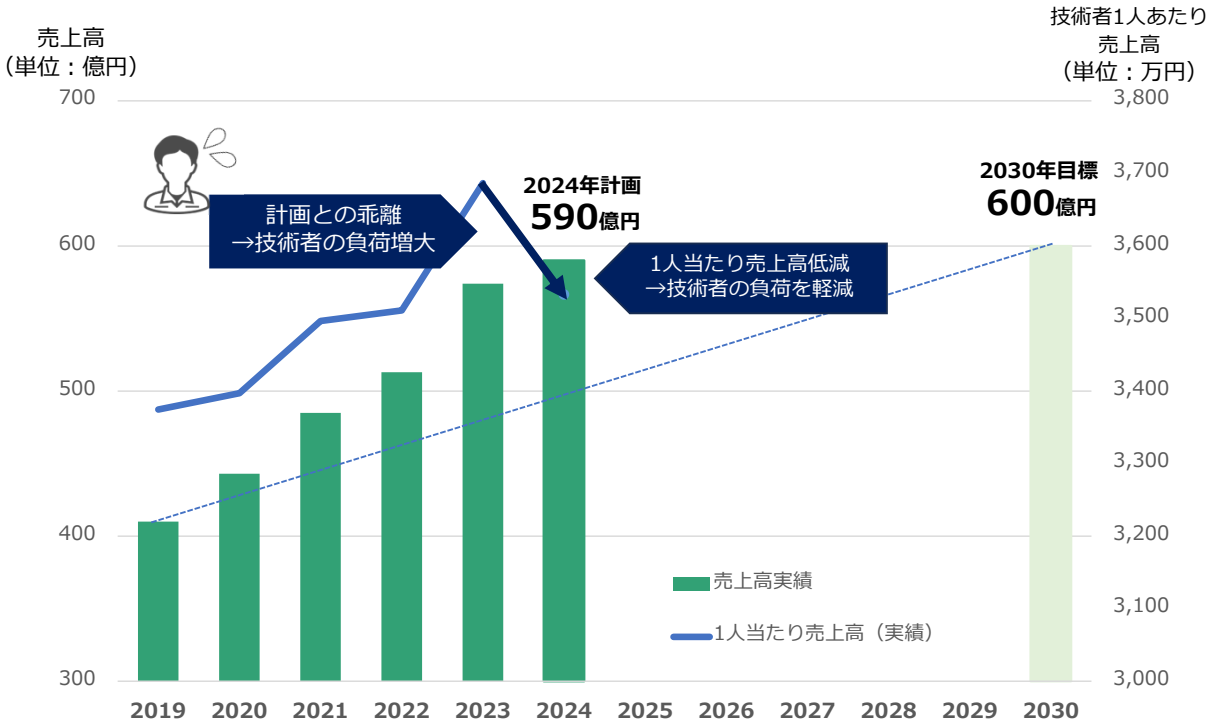
期末に向けた課題の進捗状況と今後の対応

	課題	進捗状況と今後の対応
1	事業構造変革の更なる促進とミス防止	**【事業構造変革】** ・市場拡大：市区町村、民間が若干伸びているが、引き続き技術部門と営業部門の連携による受注拡大を図る ・サービス・分野拡大：前期に比べエネルギー、PPP、グリーンインフラ等が増加しているが、依然として不十分であり、更なる事業拡大を図る **【ミス防止】** ・照査専任組織の活用と照査・自己チェックを支援するツールの利用促進によりミスに起因するクレーム件数は前年同期比約5割減。 今後もプロジェクトマネジメントによる照査期間の確保や人員拡充により、確実に照査を実施
2	投資の強化	**【積極的な採用】** ・事業拡大とワークシェアによる労働時間削減のための技術者増員を推進 （2025年度新卒採用予定約100名、中途は前期・前々期を上回るペースで採用） **【計画的な育成】** ・新入社員を対象とした基礎技術研修を今期より実施、合わせてIPDシステムによる若手技術者の計画的な育成を継続 **【多様な働き方の推進】** ・シニア技術者の処遇制度の見直しを実施、働き方の多様化、モチベーションの向上、労働力確保に期待 **【生産性向上】** ・CTI版生成AI、設計業務ミス自動検知システムは今期末に完成予定、来期以降の生産性向上に期待 **【競争力向上】** ・AI・IoT等のデジタル技術の開発等研究領域を拡大、将来性のある分野に積極的に投資を実施 **【サステナブル投資】** ・総額13億円のうち3.5億円の投資を実施中、カーボンニュートラル貢献技術としてAIを用いたエネルギーマネジメントシステム（AI-EMS）を開発（4月に社外公表）

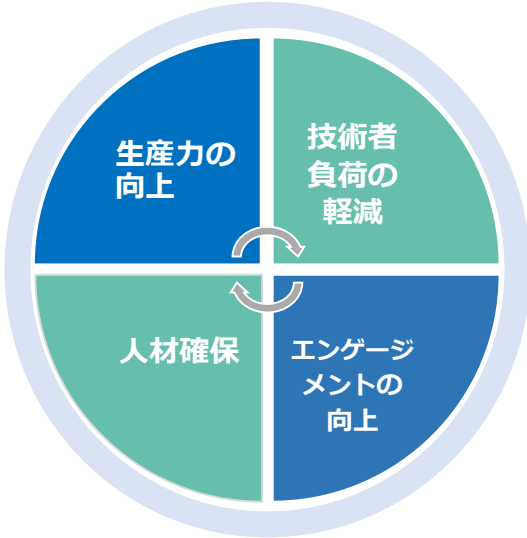
Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

（参考）当期経営計画のねらい（個別）（第62期1Q決算報告資料を一部修正）

前期までは計画を超過した売上高により、技術者負荷が増大
中長期的な人的資本の確保の第一ステップとして、1人あたり労働負荷軽減を狙い、修正計画においても1人当たり売上高は前年比減とした



人的資本への投資として
労働負荷軽減により
人材の好循環を狙う



Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

当期経営計画のねらいと進捗（個別）

2024年期首計画：
①事業構造変革とミス防止　**②投資強化**の2点をポイントとし、労働者負荷軽減を狙って減収減益計画
1Qの順調な推移により、業績予想を上方修正　→　**売上高↑**　**労働時間↓**

ミス防止

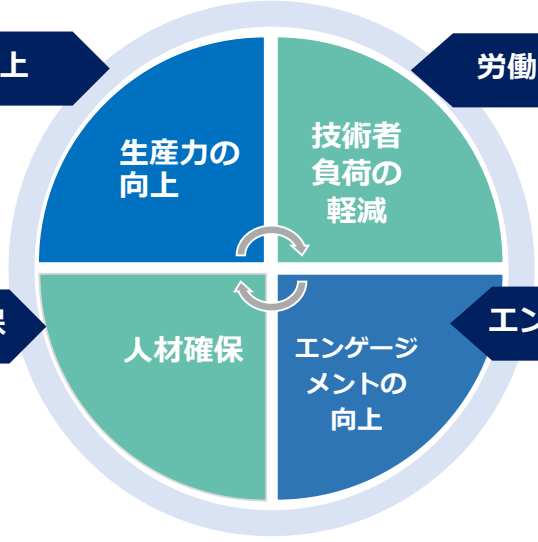
照査専任組織の活用と、照査・自己チェックを支援するツールの利用促進により、ミスに起因するクレーム件数は前年同期比で約5割減。

生産性向上

上方修正後も
1人あたり売上高の低減
2023年比**▲4.2%**

労働時間削減

総労働時間（1～6月）
2023年平均比
▲3.1%



順調な人材確保

2024年目標
技術者数1,670名
→6月時点で**1,669**名

エンゲージメントスコア

2024年冬測定予定

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

不適切な原価管理に関する再発防止策への取り組み

「不適切な原価管理に関する調査報告書（社内調査委員会：2024年4月16日）」において提言された再発防止策について具体化し、2024年6月27日に「不適切な原価管理に関する再発防止策への取り組み」を開示いたしました。これら再発防止策の周知・徹底に努めてまいります。

	再発防止策	具体的内容
1	月報承認プロセスの強化に関する再発防止策	・月報入力システムへの日々入力の徹底 ・月報承認の際の確認事項の明確化 ・月報の承認・差戻しプロセスの見える化 ・月報承認者が部員全員の状況状況を確認できる仕組み構築 ・派遣社員における業務ごとの作業時間管理の徹底
2	実行予算承認・監視プロセスの強化	・業務ごとの原価発生状況のモニタリング ・原価管理基準超過理由書の改善 ・業務の原価発生状況の見える化
3	コンプライアンス教育	・各拠点事業所等及びグループ会社（９社）を含めた全従業員へのコンプライアンス研修の実施
4	不適切な原価管理を行わない企業文化の醸成	・代表取締役名での通達の発出（4/16付け） ・管理本部長通達の発出（5/30付け） ・原価管理の重要性についての継続的周知

全項目について運用開始

Copyright © 2024 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご清聴いただき
ありがとうございました！